

令和6年度 第1回高知支部評議会 議事録

開催日時 令和6年7月9日（火）14：00～16：00

開催場所 高知会館「平安」

出席者 被保険者代表・・・市川評議員、岡本評議員、濱崎評議員
事業主代表・・・古谷評議員、吉村評議員
学識経験者・・・中川評議員（議長）、竹島評議員

議題1 令和5年度決算報告について

- ・事務局より令和5年度決算（見込み）のポイントについて説明。

（被保険者代表）

24 ページに後期高齢者の支援金を記載しているが、現行の制度で将来的に賄えるのか。

（事務局）

9 月に本部より5年収支見通しのデータが示されるので、次回の評議会にて今後の推移をお示しさせていただきたい。

議題2 令和5年度事業報告について

事務局より、令和5年度事業報告、保険者機能強化予算執行状況について説明。

（事業主代表）

健康診断で所見があった際にどこを受診すればいいか尋ねると、健診機関から特定の医療機関を紹介することはできないといわれた。例えば糖尿病と判明した場合、専門の医療機関を紹介していただければ助かる。

（学識経験者）

確かに健診当日に専門の医療機関を紹介してもらえれば、スムーズな受診に繋がる可能性がある。

（事務局）

協会けんぽとして特定の医療機関をお勧めするのは難しいが、お住まいのエリアにある医療機関のリストを提供するのであれば問題ないと思われるので、今後の施策として検討していきたい。

（被保険者代表）

特定保健指導実施率の順位が 1 位の県はどこか。また、その県がどうやって率を伸ばしているか情報があれば教えていただきたい。

（事務局）

令和 5 年度の被保険者の保健指導 1 位は熊本支部で、被扶養者の保健指導 1 位は島根支部である。保健指導のやり方としては 3 パターンあり、①支部に勤務する保健師や管理栄養士の保健指導（自営保健指導者）、②外部業者への保健指導委託、③健診当日の保健指導実施、に分かれている。

このうち③の健診当日に初回面談を実施するのが一番スムーズだが、他支部と比べて伸び悩んでおり、各健診機関に実施体制の整備拡充を要望しているところである。

また②の保健指導専門機関に外部委託する方法は、高知支部が委託している業者は全国で 17 の支部が委託しているため、あまりそこで差はつかないと思われる。

あと、①の自営保健指導者をいかに効率的に回していくかということになる。地域性として高知県はエリアが東西に長く広がっており、両サイドは保健指導に行くにも時間がかかる上に、対象者 1 人で終わってしまうこともある。また高知県の加入者は他県に比べて ICT に苦手意識を持っている傾向も見られ、対面を希望する方が多い。そういったことを踏まえ、今後 ICT を活用するためにはどうすればいいのかが課題である。

議題 3 健康保険証とマイナンバーの一体化（マイナ保険証）について
事務局より、制度概要や今後の流れ等について説明。

（事業主代表）

マイナンバーカードの紐付けについて、例えば薬の管理をすべて網羅できるといったような将来像は国から何か示されているか。

（事務局）

紐付けするものが個別に示されることはあるものの完成形は特に示されていない。

連絡事項

次回評議会は、令和 6 年 10 月に開催予定。